

小学校 低 学年<2—(4)>

学年	2年	時間	短学活 「防災ダック～はい、ポーズ～」	時期	2回目以降 いつでも	時数	15分 枚数が多い場合20分
目標	防災訓練の大切さと「防災ダック」ゲームを知り、ゲームを通して楽しみながら自分の体を守る動作をすることができる。						
資料・準備	「防災ダック」のカード（特に扱いたいカード）数枚 (防災ダックのカードは販売されています。一般社団法人「日本損害保険協会」。また、県でも所有し、貸し出しています。)、音楽CD、CDプレーヤー、またはタンブリン等						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導入	1 防災訓練の大切さを確かめ、「防災ダック」をすることを知る。 ◇このカードゲームを覚えていませんか。	○訓練の大切さについて分かるようにさせる。 ○カードを見せて、意欲喚起させる。
展開	2 「防災ダック」ゲームをする。 ◇いつ起るか分からない災害なので、防災訓練がとても大切です。「防災ダック」をみんなでやってみましょう。 ◇今日の日直さんは、前でカードとはちがう姿勢をとってみましょう。つられてみんなが間違えないか、正しい姿勢をしっかり覚えたか確かめてみましょう。	○体を動かして楽しみながらゲームをすることで、カードの意味と避難方法のポーズの定着を図る。声も出すとよいことをおさえる。 ○1回目と同様の合図（音楽、タンブリン等）で進行するとよい。 ○機敏な動作を求めるものもあるので、あわててぶつからないよう安全に気をつけさせる。 ○例えば、今日の日直さんなど、誰かにカードとは異なる姿勢をとるよう指示し、皆が正しい姿勢がとれるかどうかを、ゲームに取り入れて遊ぶのも、おもしろく確かめにもなる。 ☆楽しみながらゲームに取り組んでいるか。 ☆各ポーズを正しくとることができたか。
まとめ	3 学習の感想を発表しまとめとする。 ◇今日の学習はどうでしたか。感想を発表しましょう。 ・すぐに身を守る行動がとれた。 ◇今日の学習は（教師の感想を言う）。次回もすぐに行動できるように頑張って、練習しましょう。	○突然の災害に遭っても、いつでも自分の身を守ることができるよう、このゲームで学習訓練をしていくことを伝える。

関連する 教科・領域等	(学級活動) 避難訓練の前の学習 (学校行事) 避難訓練
協力団体	鳥取県消防防災課